

贄殿下

Sacrifice
Prince

The Heroic Legend
Of Arslan
Fan Book

R18
Contents include

パルス歴三二〇年
国を追われた王太子
アルスラーンは

諸侯の一人である
ホディール卿の援助
を受ける事になる

03

おおよくぞ御無事で
アルスラーン殿下

しかし若すぎる
王子は気付いたのか
なかったのだか

この城塞の
入口が

彼の更なる
受難の始まり
である事を……

まっ
待て
ホデイル!
今なんと…!?

ええ
ですから

支援の見返りに
殿下の御身を
賜りたいと…

そう申して
おるのですよ

それは…っ

つまり王子たる
この私に娼婦の
真似事をせよと…っ

そういう事
か…!?

ほほっ
まさか…

殿下はご自身の立場
どころか価値さえ
知らぬと見える

鏡を
ご覧下され

殿下の美しさが
女などと同様な
はずがございませぬ

娼婦など
もつでのほか!

これは何物にも
勝る報奨ですゆえ...

敬意を評しながら
欲情したいのです

わたくしは
ですな殿下
貴方様に
「国を取り戻すべく
逞しく生きる気高く
美しい王子」として

それに...

この城塞には
多くの兵や武器が
ございませぬ

わたくしの指示
一つで殿下御一行を
お守りするのは勿論

その逆も...

可能なのです
よなあ...

そう怖い顔を
なさいますな殿下

花の顔が
台無しですぞ

断れば別室に隔離
された仲間達に
危険が及ぶだろう…

この者には拘束
した私達を敵軍に
差し出す事もできる

…だが

…なんと…
下衆な…

この場を
収める最も
簡単な方法…

す…

それが
この身を
差し出す事
ならば…

…わかった

ただし触れ合い
しか許さぬ

それ以上の事を
する気ならば…

勿論ですとも

……さて

了承も得られ
た事ですし

じっくりと
親睦を深め
ましような……

ギ……

さわ……

んん……なんと
張りのある
滑らかな肌触り……

しなやかな
筋肉が美しい
ですのう……

純白の肌に
桃色の乳首が
映えますな……

ホ……
ホディール
待て……っ

あ……

ま……

は……





ああ…♡

あのアルスライン
殿下がわたくしの
逸物を…っ

すばらしい
光景ですなっ…♡

そうそう…皺の
隙間まで丹念に
舌で掬うように…

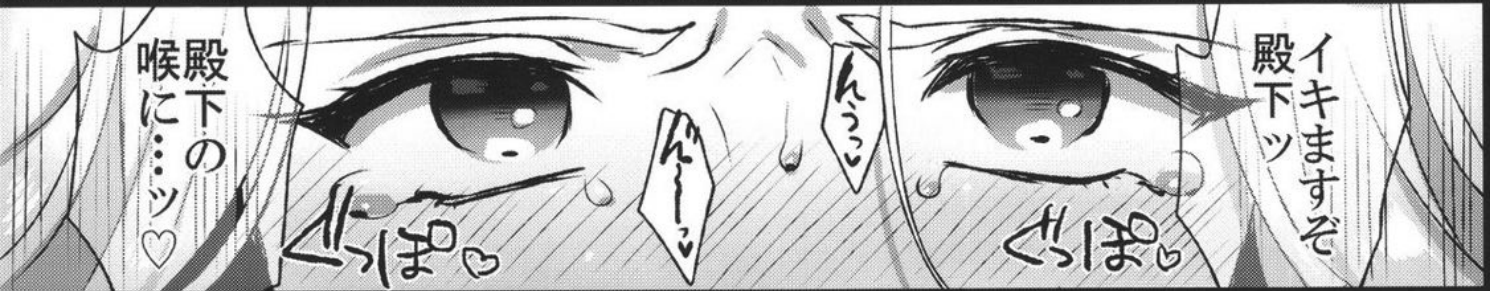
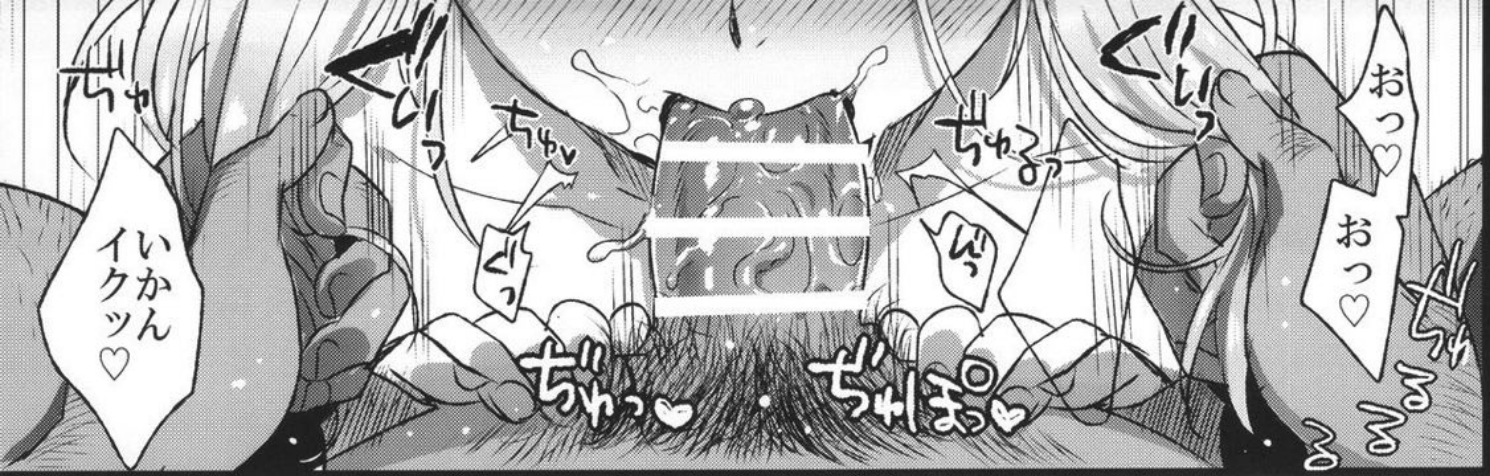
よん♡
よいですぞ♡

…
拙い口淫を
眺めるのも
一興ですが…

殿下のおクチを
粗雑に扱うのもまた
趣が増しますなっ♡

このようにっ♡

あ
ちゃん♡





はー

はー

はー

おやおや...
そんな
こぼして...

いけません
なあ...

あ...

あ...

あ...

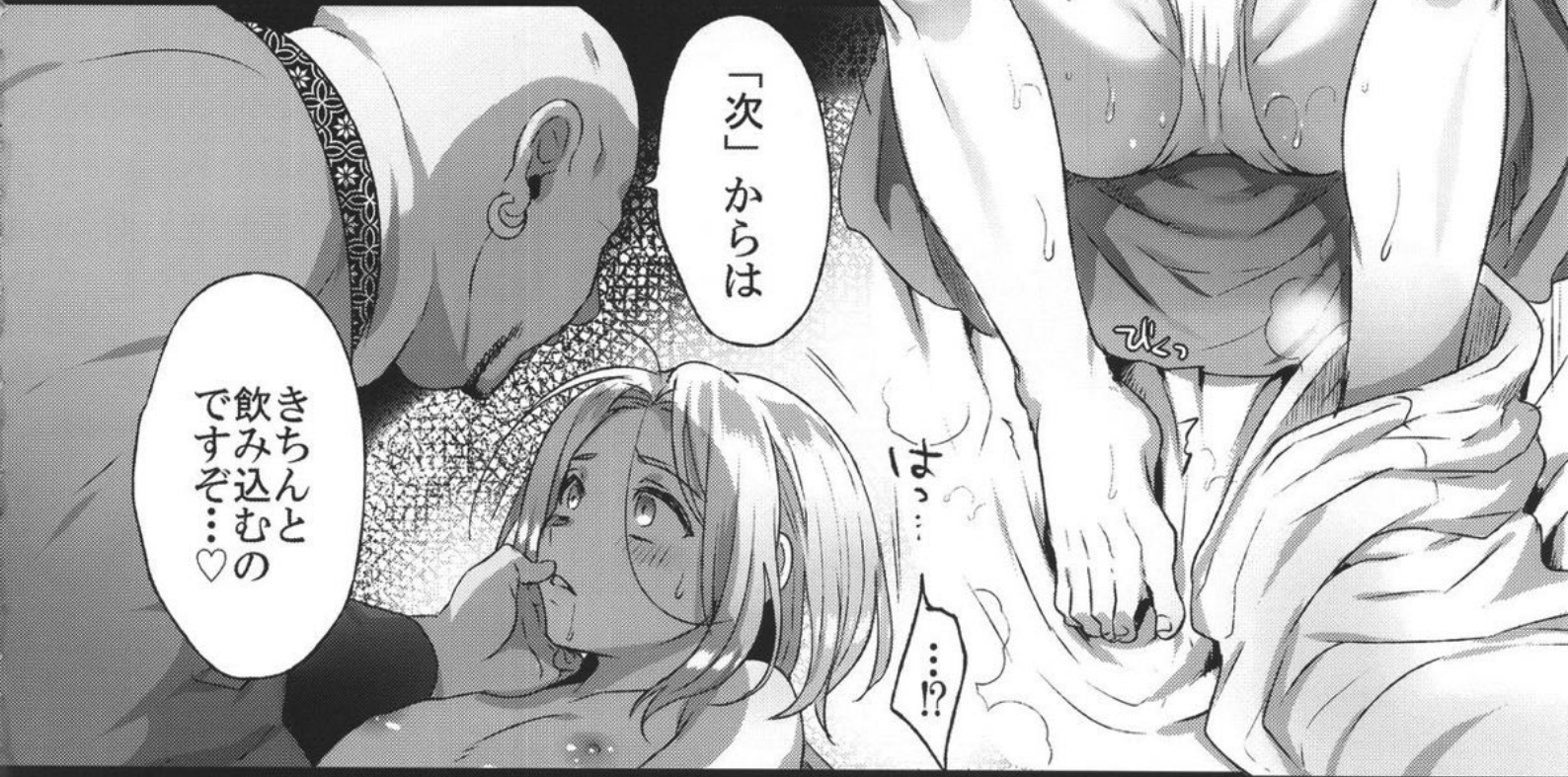
はー

はー

あ...

あ...

あ...



「次」からは

きちんと
飲み込むの
ですぞ...♡

は...

!?



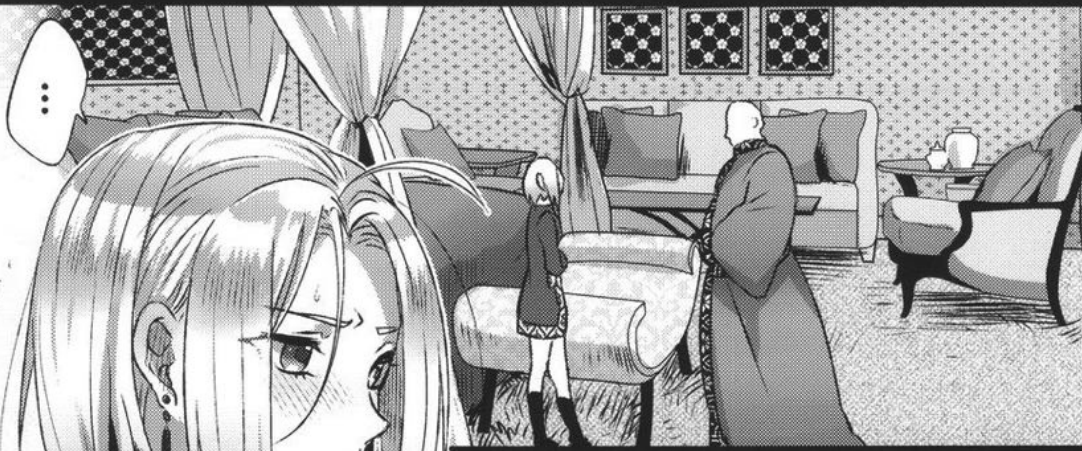
今宵はこの程度に
しておきましょう

どういう事だ
ホテイルっ
この限り
ではっ...

また明日も
楽しみにして
おりますからな

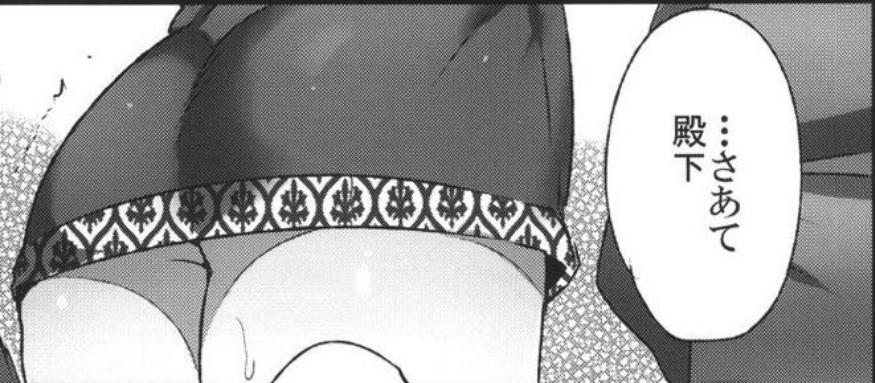
くれぐれも
臣下の皆様には
ご内密に：

殿下には常に
見張りをつけて
おりますゆえ



後日ホデイールの
要求は更に過激に
なっていた

...



…さあて
殿下



今朝お贈り
したものは
身に付けては
おりますかな？

…ああ



確認させて
下され



おお♡

しっかり
着用されて
いますな♡

か
ま
ま
ま



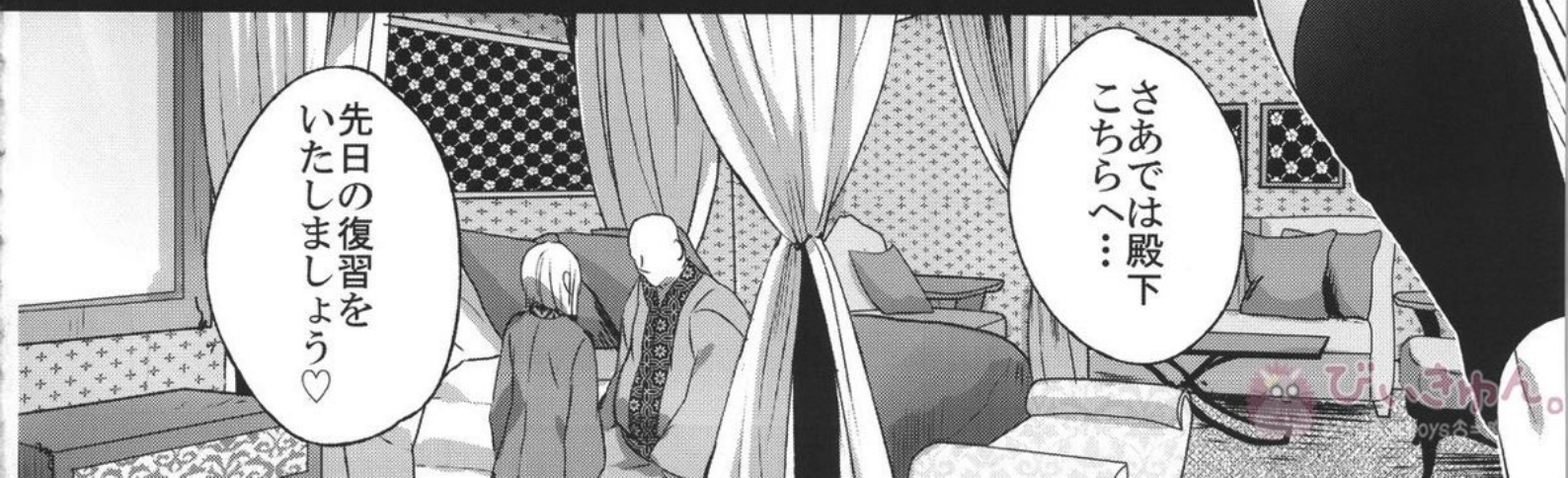
よお
く
お似
合
い
で
す
ぞ
お
い
♡

ふ
ふ
と
け
る
な
...

この
よう
な
悪
趣
味
な
履
き
物
...
っ

む
に
...

ま
あ
ま
あ
...
こ
れ
か
ら
の
行
為
を
円
滑
に
す
る
為
で
す
ゆ
え
...



先
日
の
復
習
を
い
た
し
ま
し
よ
う
♡

さ
あ
で
は
殿
下
こ
ち
ら
へ
...





わんわん...

くそ...

桃色の肉壁が
ウネウネと...

早くここに...
んん♡



まあまあ
拡がりました
なあ...♡

ほれ開くと
奥まで見え
そうですぞ♡



クチャクチャ...

想像しただけで
ガマン汁が...

も...っ
いい加減に...



んん...
もう少し
しんかしても
少しが
必要
です...



...ではこう
しましょう

殿下がわたくしを
射精させられたら

解放してさし
あげますよ

いいきゅん...



なあと
昨夜と同じ
要領ですゆえ

チ+...

チ+...

ま...
まだこれを...



早く
しないと

指増奥穿
やっつけ
まっす
ぞいて
お



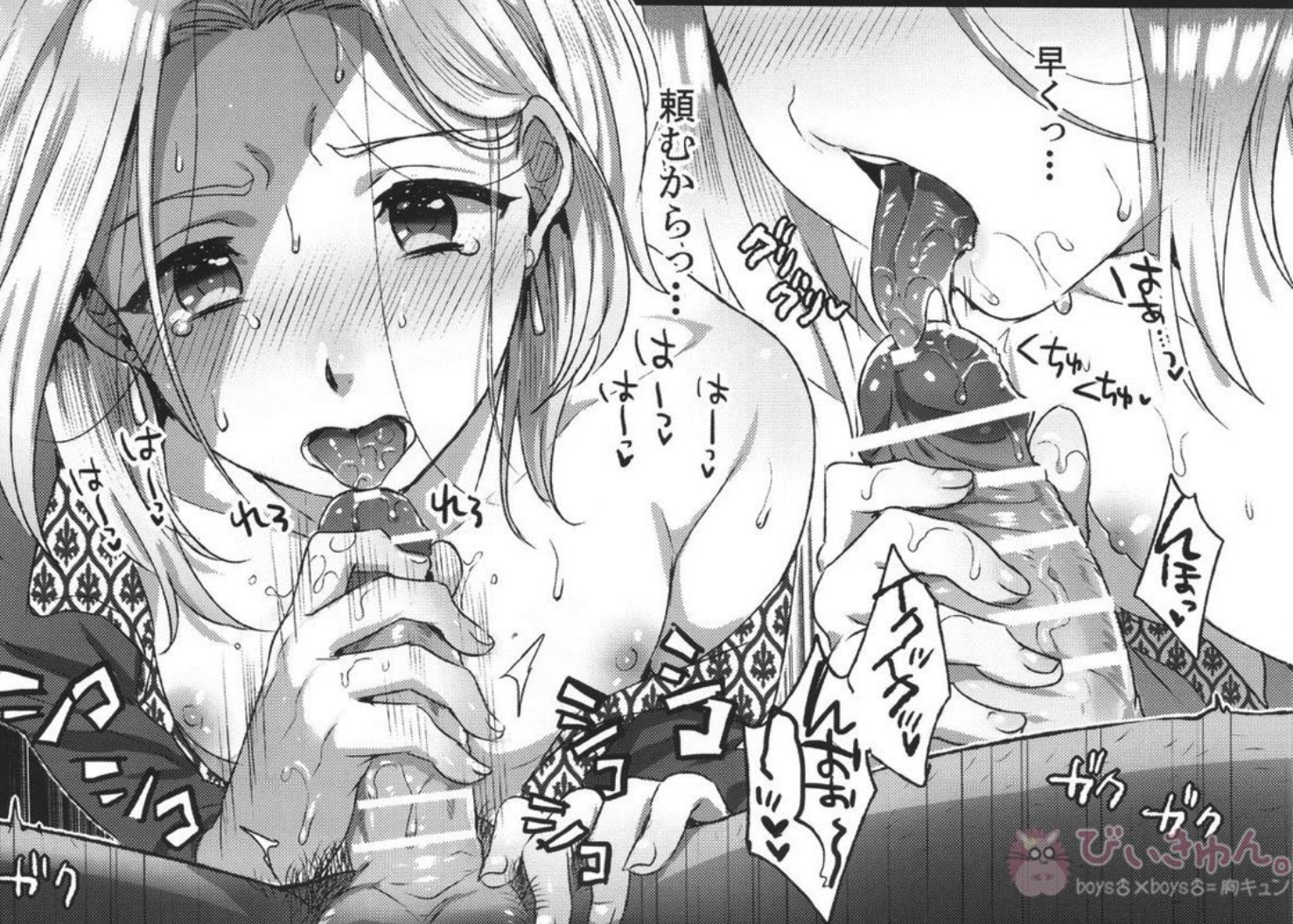
このように
ほれっ♡

チ+...

だめだ...っ
早くホディールを
射精させねばっ

このままではっ
狂っでしまっ...

チ+...



はー…
はー…
はー…

初めて弄られる
お尻で達する
とは…

もしかやこちらの
才能がおあり
なのでは？

そんな殿下に

更に素敵なし
贈り物を致し
ましよう…♡

…

…殿下

皆とも話し
合いますし

やはり早急に
この城塞を出る
べきと存じます

ホデイル郷は
信用できませぬ

いつ寝首を
搔かれるか…

…いや
ホデイルは…

…
彼は悪い人
ではないよ

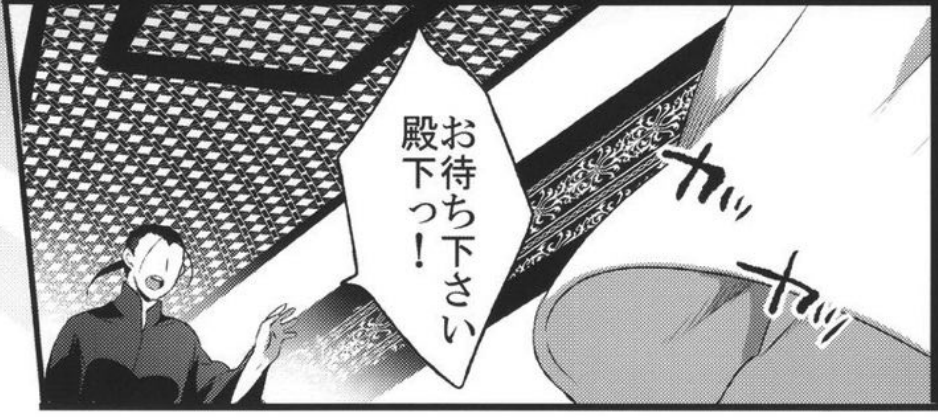
しかし…
案ずるな

おぬしらは
ゆっくりは
旅の疲れを
癒してくれ

…よいな?



殿下…っ



お待ち下さい
殿下っ!



…なんとも

健気では
ないですか
殿下…



…しかし
あの者もまさか
自身の主が…

尻にこのような
物を仕込まれて
いるとは

思いもより
ますまい…♡



ぬめ…
抜いてくれ…
苦しい…っ

仕方あり
ませんなあ…♡

よい調子です
殿下…♡

これならあと
数日で…♡



んほっ…♡

これならあと
数日で…♡



今後は殿下ご自身
でも慣らして
おくのですよ♡

課題です
からな♡

屋間でも抜き打ち
確認致します故

例え外でも
しつかり拡げて
見せるのですぞ…♡



もう暫くの
辛抱です…

大丈夫…



あと…
もう少しで
終わる…

あともう少し
耐えれば…

この屈辱の
日々が…

—1ヶ月後—

ホデイル…

何なんだ
この衣装は…っ

おお殿下
お待ちして
おりました

肌についたり
張りついたり…

それに
禪の下が…

裸より
はずかしい

今まで頑張って
頂いたのは全て
この日のため…

その衣装は
いわば
正装ですよ

…まあ
そう焦り
なさいますな

では今宵を
耐えれば…!

本当によくお似合いで…

うーん 美し…

…おや
ところで
このつまんでほし
そうな乳首はどう
されたのです？

異国の極薄素材
で製作に苦労した
甲斐がありました

肌に吸いつく
ようでしょう♡

もしや透けて透ける
の興奮しておられる
のですか？

それともまさか
直にこね回され
たいとか…？

ゴロ
ゴロ
ゴロ



わたくしもう
勃起が止まら
ないのですよ…

この日のために
溜めてきました
からなア…

ほれ…金玉が
パンパンなのが
分かるでしょう♡

殿下も
そうでは？

し…
知らぬ…

ん…

びび



しらを切る
つもりですか

では…

コレは

何です
かなあ…♡

ヒッ

はっはっ



乳首でこう
なってしまう
とは…

清廉な御顔で
とんだスケべさんで
いらっしやる♡

カカ

カカ

カカ

カカ

カカ

カカ

カカ

カカ

カカ

びいきゃん
キュン



今宵でこの取引は
終わりなのだろう!?

早く終わ
らせ...

んん?

ん...

ん...
ハッ
一体いつまで
こんな辱めを...

全く実に
いやらしい...

さ...
触るな...

スリ!

はあ



おやあ
殿下...

それはもう
待ちきれない
という事ですか?

...?

では本懐を
遂げさせて
頂きましようか

な...
何を...

それは
勿論...

わたくしを殿下の
胎内に受け入れて頂く
愛の儀式ですよ...

そ...
そんな...

無理...

ピキッ

ピキッ



さあ
お覚悟を…♡

この一カ月で殿下の
尻は雄の為の穴と
なっておりますゆえ♡



怖がらずとも
よいのです



だ…っ
だめだ…

く…っ

それを挿れて
しまつたら…



もう…
戻れなくなる…っ



しっかりと入り
ましたぞお...♡

ほろれ
見なされ...

流石14歳...♡
拡張しやすい上に
締め付けも程よく...

ぬ...抜いて...
抜いてくれ...
頼む...っ



これこれ
暴れずとも...

ははは
ははは
ははは

ぬるるるる...♡
ははは

ははは



ここまで来て
往生際が悪い
ですぞ殿下ッ

わたくしは…っ
殿下が王宮に
上がった頃からっ

殿下と種付け交尾
できるこの日をッ

待ち望んでいたの
ですからなッ♡



あゝ気持ちいい
ですぞおっ♡

殿下も良い所が
あればぜひおねだり
して下され♡

ばっ…
ばかなっ…



ああこのように口吸いまで...

舌が絡みつき...

はっ はっ

れいっ

れいっ



まるで夢のよう...

ちゅっ ちゅっ

じゅっ

苦し...

んっ



いやだっ... 壊されるっ...

ちゅっ ちゅっ

じゅっ じゅっ



失礼しますぞ 殿下っ...♡

ちゅっ ちゅっ

ぱんっ ぱんっ

こんな状態でこれ以上奥を突かれたらっ...

私は...

ちゅっ ちゅっ

ちゅっ ちゅっ

ちゅっ ちゅっ



このまま出し
ますぞおっ♡

溜めに溜めた
子種汁ツ...

しっかり受け
止めて下されっ♡



熱い...

この晩も
その晩も

ホデイルは
幾度となく
私を犯し続けた

大国の王子を穢す
背徳と悦楽は

彼にとって
どれ程のもの
だったのだろう

その欲望は
留まる事なく

私を貪り
壊していく

ほれ殿下ッ

騎馬の民ならば
しつかり腰を
使うのですっ♡



足腰がなって
おりませんな…

おや…
もうお疲れ
ですか？



仕方ありませんが
ここはわたくしが
お手本を…



暴れ馬
ですぞおっ♡

はっはっ

それっ♡

それっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ
はっはっ
はっはっ

はっはっ

はっはっ

熱い...

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

熱い...

はっはっ

はっはっ
はっはっ

はっはっ
はっはっ
はっはっ

心は冷たく
沈んでいく

体の中を熱い
液体で犯されて
いけばいく程

抱かれる度に
「王子の私」
が死んでいる

では…

この私は…

仲間達の前で
無垢な少年を
演じる私は…

「私」は誰…?



ああいす
殿下っす
♡♡

奥まですっかり
逸物の形を
覚えたようで…っ♡

もしやわたくし達は
体の相性がよいの
かもしれない♡

ぽっ
ぽっ
ぽっ

ぽっ
ぽっ
ぽっ

がわがわ

ぽっ
ぽっ
ぽっ



さぞかし具合が
よろしいでしょう♡

そ…っ
そ…っ
わ…っ

ぽっ
ぽっ



なんですと?
それは
いけません…

では更に濃厚な
種付けをして
差し上げねば…

…なにを…っ

ぽっ…

ぽっ

びんかん



ズズズズズズ

殿下の体は誠に素直ですなあ♡

頼むから早くっ♡

早く終わってくれ…っ

ほれっ♡
そんな
締めたらっ

またイクッ
イキますぞっ♡

無理…っ
もう…っ♡

あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡

あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡

あっ♡
あっ♡
あっ♡
あっ♡

あっ♡
あっ♡
あっ♡

あっ♡
あっ♡

あっ♡
あっ♡
あっ♡

あっ♡
あっ♡
あっ♡





お慕い申して
おりますぞ...

アルスラーン
殿下...♡

…殿下

一体いつまでこの城塞に籠もっているつもりです…？

流石にもうそろそろ…

…ああそれについてだが

ホデイールの協力もあり

このままここを拠点に兵を募ることに…

既に多くの貴族達が援助を申し出てくれてな

これからの食事会なんだ

…だから詳しくはあとで…

…それは…

…大丈夫

こんな私にでも
きつとできる事が
あるはずなんだ

どうか私を
信じて待って
いておくれ

みんな

殿下……っ



本来であれば
この身など

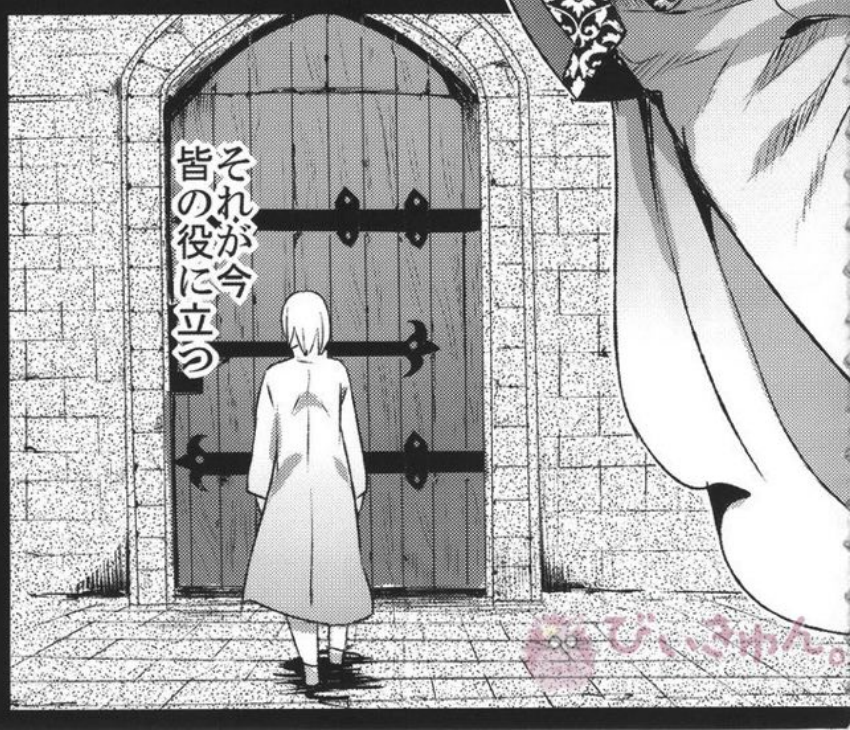
初陣でとうに
哀れな骸を曝して
いたはずなのだ



それが今
皆の役に立つ

ならば……

キィ……

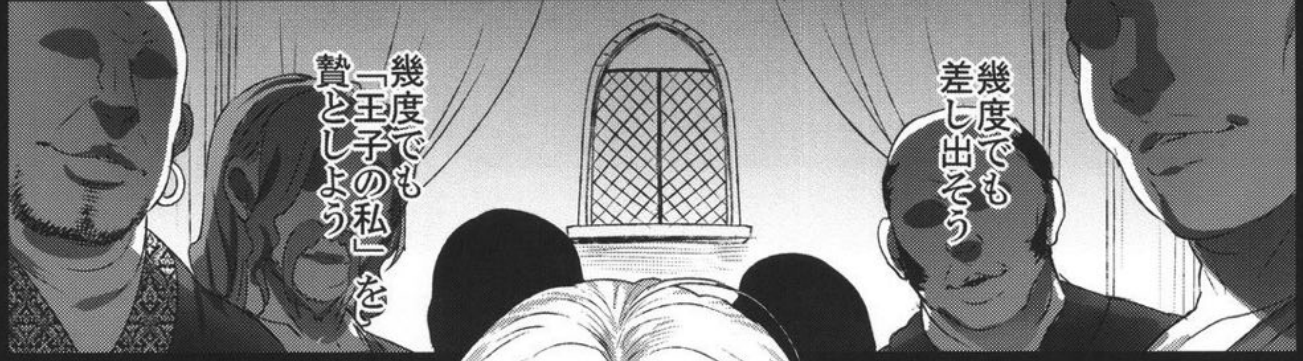


あひまの



これ以上
無益な争いを
抑えられるなら

何も持たぬ
この薄汚れた身で



幾度でも
「王子の私」を
贖としてしよう

幾度でも
差し出そう



どだ
うから
から
...

ど
うか
...

名もなき私に救いの手を

贅殿下

◆2016/08/12

発行: 黒ミサ会場/池咲ミサ 第六版

◆印刷: ねこのしっぽ

◆連絡: ikezakimisa@gmail.com

◆twitter: <https://twitter.com/ikezakimisa>

◆pixiv ♀: <http://www.pixiv.net/member.php?id=334249>

◆pixiv ♂: <http://www.pixiv.net/member.php?id=7928116>

あとがき

はじめまして。池咲ミサです
この度はこの本をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

版權で漫画をかくのはおそらく2年ぶりくらいになります。
今回(C90)でサークルとしてのイベント参加は初めてとなりまして
好きなキャラのおちんちんを描くのも(申し訳なくて想像すらできなかったのです)
ホモセク描くのもショタエロ描くのも種付けおじさんを描くのも
色々な事がはじめてづくしです。
なので原稿に入る前に1週間くらいずっと
ホモAVを見て魅せるホモセク研究をしていたので
そのおかげかなかなかしっとりスケベな感じに仕上がったのではないのでしょうか。
生粋のショタコンですがホモ漫画もショタ漫画も
あまり日頃から嗜んでいないので苦労しました。
ぷるぷる揺れるおちんちんの魅力、美しい少年のボディライン、
可愛い容姿ながら雄のプライドを捨てない男らしい殿下…
全てにおいてほほほ満足いく出来となったと思います。

ちなみにこの殿下は勇ましく凛々しいお方なので
どれだけ犯されようと雌墮ちなどなされません。(時々ハートでちゃってるのは生理現象なので仕方ない)
簡単に墮ちたらおじさんもここまで執着しなかったでしょう。
冒頭にもおじさんが言っていますが彼の価値は
一見して女のような容姿だけではなく恵まれた王族という立場でありながら
それに甘んじることなく、どんな不運や逆境にもめげず
明るく気高く生きるのその姿、その精神性が最もたる部分なのです。
娼婦扱いではなくあくまで男として抱かれ男として受け入れる…
自らの達すべき目的のため、守るべきもののため彼は精一杯がんばっているのです。
つまりこんな頭のおかしいドスケベ衣装を着せられてケツ穴穿られようが
殿下はとことんイケメンなのです。抱かれたい…
抱かれたいくなるような殿下を抱きたい……
ですのでただ可愛いだけの守られ系男子などとお手軽に扱われては困るのです。
故に 今回凛々しく勇ましい殿下を種付けしたいという意識の元
このように形にできましたこと嬉しく思います

話の流れのコンセプトとしては彼の出生について、
王子としての部分と一人の少年としての二分性を意識しました。
この時点では彼自身まだ自身の出生を知らない段階なのですが
王子である自分を殺し利用する事、
王子の身分を若干わずらわしく感じていたであろう彼からすれば
犠牲にする事はむしろ好都合だったのかもしれませんが。(この部分は好きな映画の影響をうけてまくっています…
立憲の二面性で二人扱いするの好きなんです)

プロット自体は一年前から考えていたものの
当初本を作る気は全く無かったのですが今回出せて本当に良かったです。(達成感に満ち満ちております)

長くなりましたが色々こだわり抜いた一冊となりました。
表紙買って下さったジャンルもキャラも知らない人にも
できるだけ作品や人物の雰囲気や伝わるように気を遣い、
またショタものやホモセク、種付けおじさんに興味ないという性癖外な人にも
絵的に美しく淫靡に魅せられるように尽力しました。
男女問わず読んで頂けたら嬉しいです。

そして凛々しさと気高さと聡明さと強さと可愛さを併せ持つ
美少年王子の魅力を感じて頂けたら幸いです。

もしまた機会がありましたらどうぞよろしくです。
どうもありがとうございました。
(でももう4OP越えのエロ漫画は描きません)

池咲ミサ

*The Heroic Legend Of Arslan
Fan Book: R-18*

By: Ikezakimisa

2016 Summer

